



議会だより

# おまかせ

No.204

平成27年8月1日

発行:愛知県大府町議会

## 特集 議会改革

北保育園建設工事契約 4億9千万円

役場庁舎に太陽光発電設備を設置

一般質問 防犯灯の地元負担をなくせ

ふるさと納税で産業振興を

新議員に抱負を聞く

2~3

4

5

9

10

14

# 革の歩み

町議会は、開かれた議会の実現のために、議会のあるべき姿について徹底した議論を行いながら、皆さんに積極的に情報を発信し、さまざまな取組みや改善を行ってきました。

そして、平成27年5月、議会基本条例を施行しました。

町議会は、引き続き、皆さんにとって、より透明で分かりやすい議会活動を目指し、議会報告会の開催など、議員全員が一丸となって取り組んでいきます。

今回は、写真を通して、これまでの議会改革の歩みを紹介します。

平成26年9月

## 議会中継のインターネット配信

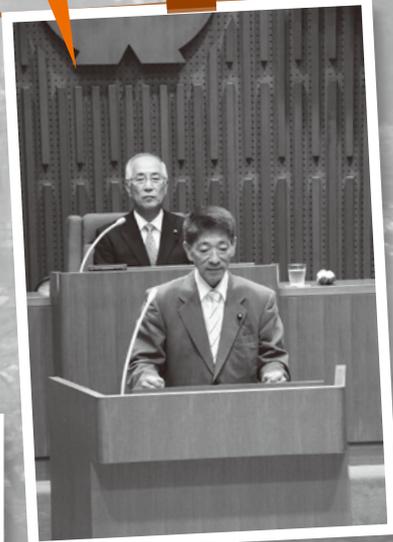
一般質問の状況を多くの人に観てもらうため、インターネットによる配信を開始しました。



平成27年5月

## 議長選挙 所信表明

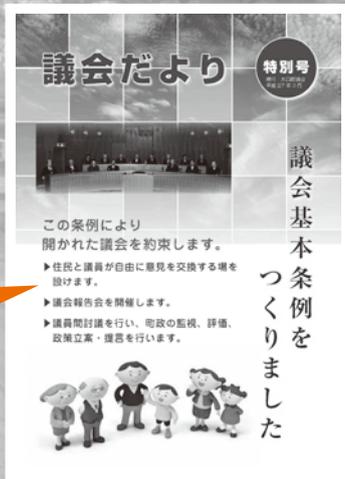
議会活動の方向性を明確にするとともに、議会の透明性を確保することで、町民に分かりやすい議長選出を行うために志願者制とし、所信表明の機会を設けました。



平成26年11月

## 議会基本条例説明会

条例制定に向けた最終段階として素案をもとに説明会を開催しました。



平成26年12月

## 議会基本条例の制定

二元代表制の一翼を担うものとして、その責務を認識するとともに、町民の厳粛な信託に応え、ともに歩む開かれた議会づくりを推進するため条例を制定し、平成27年5月から施行しました。

# 議会改

平成19年12月

## 一般質問 対面による一問一答方式に

議会における議論を活発で実のあるものにするため、対面による一問一答方式とし、発言・答弁合わせて90分以内としました。



平成22年5月

## 議会基本条例検討特別委員会を設置

議会及び議員が果たすべき役割を精査し、議会活動の規範となる条例の制定に関する調査・研究を開始しました。



平成26年3月、10月

## 議会報告会の開催

町民の生の声を聞き、意見交換をする機会を設けるため、議会報告会を開催しました。



平成25年5月

## 議会基本条例策定特別委員会を設置

定数、報酬、政務活動費、議会報告会など、議会制度改革や開かれた議会に関する15項目について検討する中、特別委員会の名称を変更し、基本条例の策定に向けて本格的に動き始めました。

## その他の議会改革

- ◆ ふれあいまつりでの議会だよりアンケート(平成23年度から)
- ◆ 常任委員会での議員間討議(平成26年6月議会から)
- ◆ 議長・常任委員会委員の任期(1年→2年。平成27年5月から)
- ◆ 政務活動費(交付の対象と方法を変更。平成27年5月から)
- ◆ 一般質問 発言・答弁時間(90分→70分。平成27年6月議会から)

# 北保育園建設工事に 4億9千万円

## 6月議会で決まった主な内容

- 税条例等の一部改正
  - ・ふるさと納税ワンストップサービス特例制度の創設(平成27年4月1日から)、軽自動車税のグリーン化特例の導入(平成28年4月1日から)、マイナンバー法の施行(平成28年1月1日から)。
- 丹葉地方教育事務協議会規約の変更
  - ・教育委員会は、規約を定めて採択地区協議会を設け、その協議の結果に基づいて小中学校の教科用図書を採択する。
- 役場庁舎に太陽光発電設備、蓄電池、LED照明の設置工事  
3765万円
- 中小口、下小口地内の道路用地の測量、購入  
769万円
- 北保育園建設工事(第1期)請負契約  
4億8978万円

6月定例会は、6月2日から6月22日までの21日間の会期で開催しました。町提出議案は、税条例等の一部改正や補正予算など8議案が提出されました。採決の結果、税条例等の一部改正が賛成多数、他の議案は全会一致で可決し、陳情1件は「聞きおく」ことにしました。議員提出議案3件が提出され、2議案を賛成多数で可決、1議案を賛成少数で否決しました。一般質問では、5議員が町政全般にわたり質問しました。

# 質疑あれこれ

議案質疑、総務建設及び文教福祉の各常任委員会での主な質疑を掲載します。

## 条例の改正

### 税条例等

ふるさと納税のワンストップ特例の創設、軽自動車税のグリーン化特例の導入、マイナンバー法の施行に伴い改める。

#### 【ふるさと納税】

**問** 町の税収、町民が他市町村にふるさと納税されている金額は、

**答** 平成26年度の個人からのふるさと納税の総額は38万円。うち町民が13万円、町民以外が25万円である。

#### 【軽自動車税】

**問** グリーン化特例は、平成28年度に限られるのか。

**答** 平成29年度以降も制度が継続されるか否か、現時点で情報は無い。国の制度改正の状況を見守っていく。

【マイナンバー(個人番号)制度】

**問** 国では、年金番号の漏れい問題が発生した。個人番号が、漏れいにより不正に使用される場合があるが、その対策は。

**答** 町では、税情報など内部のみの情報を管理する基幹系、インターネットを介して外部につながる情報系の2系統のシステムを使用し、それぞれにセキュリティソフトを導入している。

職員には、基幹系の情報を情報系に移さないよう指導しており、システム外部へのデータの抜き出しや保存ができないよう管理している。現在のところ、情報漏れいは起きていない。

# 規約の変更

## 丹葉地方教育事務協議会規約

**問** 教科書用図書の採択  
についての今後は。

**答** 従来どおり、尾張西  
部教科用図書採択地区  
協議会の協議結果を経た  
後、町教育委員会として、  
教科用図書を採択する。

**問** 教科用図書に副読本  
は含まれるか。

**答** 副読本は含まれない。  
副読本は、各学校で決定  
し、町教育委員会に報告  
される。

**問** 教科用図書の採択結  
果や理由の公表に努力義  
務が課せられた。どのよう  
に考えているか。

**答** 公表は地区協議会全  
体の問題である。町教育  
委員会としては、地区協  
議会に対し、法律の努力  
義務に沿うような働きか  
けをしていきたいと考え  
ている。

# 平成27年度一般会計補正予算

### 〔国民健康保険〕

**問** 今年度、国の保険者  
支援金制度が拡充された。  
国保税は6月に確定する  
が、補正予算に反映され  
ていない。今後、制度の拡  
充による国保税の引き下  
げはするのか。

**答** 保険者支援金制度  
は、保険者である町に対す  
るものであり、制度拡大の  
財源による国保税の引き  
下げは考えていない。

補正予算は、国への申請  
により額が確定した段階  
で対応する。

### 〔太陽光発電設備工事〕

**問** 二酸化炭素排出抑制  
対策事業費等補助金37  
42万円の内訳は。

**答** 役場庁舎の太陽光発  
電設備、蓄電池、LED照  
明の設置工事に対する補  
助金である。

### 〔保育園体験活動〕

**問** 保育園で実施されて  
いる体験活動の意義は。

**答** 五感で触れる、人に  
感謝する、愛情を込めて  
育てる。いろいろな表現の  
仕方があがるが、体験活動  
を通して、子どもの心、生  
きる力を育て、生き生き  
と生活できるようにする  
ことだと考える。

### 〔木育研修〕

**問** 北保育園の建設には、  
木材を使うことが分かっ  
ている。当初予算の段階で  
「木育」の研修を計画すべ  
きだったのでは。

**答** 当初予算では1回分  
の研修を計上していたが、  
4月4日、全保育士を対  
象とした研修後、「木に親  
しみ、触れ、作って遊ぶ」木  
育に対する機運が高まり、  
町として積極的に取り組  
んでいくこととした。年  
度当初から間もないが、  
補正予算で対応する。

### 〔体力測定事業〕

**問** 体力測定の実施内容は。

**答** 体力測定事業は、平  
成24年度から進めてい  
る。今年度は、主に若い世  
代を対象とし、体力測  
定、結果説明会、健康づく  
り講演会と講座を実施  
する。市民の体力づくり  
と生活習慣病の予防につ  
なげていきたい。

## 北保育園建設 工事(第1期) 請負契約

**問** 入札が1社のみとな  
った要因は。

**答** 地元業者の事業参加  
を促すため、入札参加資  
格に、町内に本・支店又は  
江南市・犬山市・岩倉市・扶  
桑町に本店を有する旨、定  
めた。参加対象が限られ  
たこともあるが、1社とな  
った要因は分からない。



はしづくりを通し、命の大切さを(木育研修)

# 賛否の分かれた議案

他の7議案は全員賛成で可決

○=賛成  
×=反対

議案名	議員名													結果			
	船戸	吉田	岡田	酒井	鈴木	大竹	伊藤	柘植	齊木	大島	丹羽(孝)	宮田	丹羽(勉)		木野	倉知	
税条例等の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議員提出議案	国民的合意のないままに安全保障体制の見直しを行わないように求める意見書 提出者 吉田 正															×	否決
	安全保障体制の見直しに対し国民の理解が十分得られるよう審議を尽くすことを求める意見書 提出者 倉知 敏美															○	可決
	地方単独事業に係る国民健康保険の国庫負担金の減額調整措置の見直しを求める意見書 提出者 柘植 満															○	可決

(議長は裁決に加わらないため空白)

## 討論があつた4議案の審議結果は左のとおりです

### 反対討論

吉田 正

改正内容に含まれるマイナンバー制度は、その制度自体及び利用目的に多くの問題がある。町は運用を延期すべきである。

### 賛成討論

伊藤 浩

マイナンバー制度は、町の法定受託事務となっており、個人番号を活用した効率的な情報管理や手続きの簡素化を目的としている。

### 税条例等の一部改正

### 賛成討論

吉田 正

国民的合意のないままに安全保障体制の見直しを行わないように求める意見書

戦闘地域と非戦闘地域の垣根をなくすことが最大の課題である。威嚇・武力の行使は憲法9条に違反する。国民の合意なくして安全保障体制の見直しはできない。

### 反対討論

伊藤 浩

外交・防衛は国の専決事項である。国民への説明と国会での十分な議論・審議で結論を出し、自国の平和と安全を守るために国際社会と協力し、平和外交を推進することが必要不可欠である。

### 反対討論

吉田 正

「国民の理解が得られれば、安全保障体制を見直してもいい」と読めてしまつことが残念である。

安全保障体制の見直しに対し国民の理解が十分得られるよう審議を尽くすことを求める意見書

### 賛成討論

宮田 和美

現状、国においては説明が不十分であることから、「国民の理解が得られない」といふことがないよう求めるものである。

### 反対討論

吉田 正

国民健康保険の運営の都道府県化は市町村の声が届かなくなり、加入者の保険税負担が増大する要因となる。以前のように、国庫負担金は40%近くまで戻すべきである。

### 賛成討論

柘植 満

地方単独事業に係る国民健康保険の国庫負担金の減額調整措置の見直しを求める意見書  
少子高齢化が進む中、幅広い観点から議論する場を設け、子ども等に係る医療に対する支援策を考へる必要がある。

## 陳情

6月議会に提出された1件の陳情は、所管の常任委員会で審査しました。

### 【陳情】

・憲法をいかして働く者の権利を守り、住民生活の向上、核兵器のない平和な世界を求める陳情書

陳情者

春の自治体キャラバン  
実行委員会

代表 樽松 佐一

(聞きおく)

ここが聞きたい!

一般質問

# 町政を問う

5議員が質問

「一般質問」とは、行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

伊藤 浩	小学校で行政区合同の総合防災訓練は 挨拶が飛び交う町づくりを	.....	P 8
吉田 正	子どもの医療費を高校卒業まで無料に 防犯灯の地元負担をなくせ	.....	P 9
大島 保憲	ふるさと納税で産業振興を 学共の計画的な改修を	.....	P 10
船戸 光夫	病児保育利用料の全額公費負担を 国保税滞納世帯の分割納付の普及を	.....	P 11
柘植 満	生活困窮者自立支援制度の着実な実施を 図書館の学習スペースの整備を	.....	P 12

## 追 跡

以前の一般質問から

## あれから どうなった?

以前の定例会で取り上げられた一般質問の中から、その後の町政にどのように反映されたかを調査しました。

### 平成26年3月議会(丹羽 孝)

#### 空地の有効活用を

**問** 工場の跡地や周辺の付帯土地など空きスペースの有効活用は

**答** 「未来の土地利用検討プロジェクト」が立ち上がり、50年後に向けた土地利用の策定に向けて、検証や検討を重ねていく。

平成27年3月にプロジェクトの最終報告がなされたところであり、土地の有効活用の具体化策定までには至っていない。

#### 質問者の満足度



がんばれ

土地の有効活用は、豊かな大口町の基本である。

### 平成26年6月議会(大島 保憲)

#### 国道41号 6車線化に伴う対策は

**問** 町内のアクセス道路の対応は

**答** 交通安全などに留意して、国道事務所や江南警察署と協議していく。

交通量調査を実施するとともに、交差点の形状などについて、国道事務所や江南警察署との協議を継続している。

#### 質問者の満足度



がんばれ

慢性的な渋滞解消のため、全力投球を。

どうなった

# 小学校で行政区合同の総合防災訓練は

## 部長 応急手当・消火訓練と考えている



伊藤 浩

**伊藤** 防災の知識・技能・意識を高めるため、多くの人が参加できる避難所の小学校で、行政区合同の総合防災訓練を実施したらどうか。

**地域協働部長** 総合防災訓練は、災害時に地域で活動する自主防災会の役員の参加が理想と考えている。また、内容については、地域での活動の主となる応急手当訓練や消火訓練と考えている。

**地域協働部長** 総合防災訓練は、災害時に地域で活動する自主防災会の役員の参加が理想と考えている。また、内容については、地域での活動の主となる応急手当訓練や消火訓練と考えている。

地域自治組織は、小学校区の地域の担い手として活動しており、防災が地域の課題として取り上げられれば、協力して進めていきたい。

**伊藤** 自宅から避難所までの避難経路は周知されているか。

**地域協働部長** 避難経路は、各避難所の避難エリアを定めていないこと、町内の集落が点在していることから、指定していない。

**伊藤** 避難行動要支援者の把握や支援体制はどうなっているか。

**健康福祉部長** 高齢者、障がい者、妊産婦の一部の方を中心に名簿で整備している。

今後、支援を希望する方と支援を行う地域の方をあらかじめ登録しておくなどの仕組みづくりを考えていきたい。

今後、支援を希望する方と支援を行う地域の方をあらかじめ登録しておくなどの仕組みづくりを考えていきたい。

# 挨拶が飛び交う町づくりを 教育長 大人が見本となることが大切

**伊藤** 相手によい印象を与える挨拶のポイントは、

**生涯教育部長** 笑顔で、元氣よく、自分から積極的に挨拶をする

**伊藤** 町内全体で、どんな試みをするか、挨拶が広まるか。

**生涯教育部長** 現在実施している、

あいさつ運動や小学校の下校時パトロールなどの取組みを継続し、挨拶の輪を広げていきたい。

**伊藤** 挨拶の標語を募集し、優秀作品の看板を作成し、設置していただきたい。挨拶が飛び交う町づくりに関する見解は。

挨拶は人と構築するため、大人が子どもたちのよき見本となり、現在の取組みを、地道に粘り強く実践し、その輪を広げていくことが大切である。



小学校でのあいさつ運動

# 子どもの医療費を高校卒業まで無料に 参事 拡大は困難である

**吉田** 子どもの医療費を高校卒業まで無料にできないか。

**健康福祉部参事** 現在、中  
学卒業まで無料にしている。年間1億3000万円(3万6000円/人)費やしている。事業を継続するためにも拡大は困難である。

**吉田** 拡大した場合、いくらかかるのか。

**健康福祉部参事** 年間で、3学年で1500万円程度(1万8000円/人)かかる」と試算している。

**総務部長** 単年度の交付金では、事業の継続は困難である。

**吉田** この交付金を活用すると、国民健康保険に対する国庫負担金を減額する「ペナルティ」は行われない。今後も同様の交付金が出てくれば検討してほしい。

**吉田** 国の「地域住民生活等緊急支援のための交付金」も活用することは可能では。

**副町長** 助成や補助の目的には、「負担を軽減するもの」と「負担を軽減することによって何かを促進するもの」がある。

この事業が前者に当てはまるとすれば、町の大きな課題として何としても解決すべきであるという認識は持てない。



吉田 正

## 防犯灯の地元負担をなくせ

### 部長 見直しを検討中

近隣市町の防犯灯負担の状況

設置主体	補助制度	制度内容	費用負担者			備考	
			設置	修繕	電気料		
大口町	地元自治会	あり	行政区交付金	自治会町	自治会町	自治会町	当初交付分 1,700円×世帯数+100,000円 実績交付金 200円×世帯数+100,000円 を活用。 区と区の境は町が設置
扶桑町	土木課	—	—	町	町	町	地元自治会からの設置・修繕要望により町が判断。
犬山市	道路維持課	—	—	市	市	市	市内ほぼ全ての防犯灯は市が設置。修繕、電気料の維持管理費も全て市が負担。
江南市	地元自治会	あり	新規設置工事費は2/3補助(上限あり)、電気料金に関しては、LEDは年700円程度、LED以外なら1,500円程度補助している。修繕費については補助制度なし。	自治会市	自治会市	自治会市	修繕費の補助制度はないが、既存の非LED灯の修繕が必要な場合は、LED灯で新規設置。
小牧市	地元自治会	あり	設置費、修繕費、電気料を自治会へ全額補助	市	市	市	設置費、修繕費、電気料は市が全額補助するが、設置、修繕時の業者への依頼については地元自治会。
岩倉市	行政課	—	—	市	市	市	地元自治会からの設置・修繕要望により市が判断。

**吉田** 防犯灯の地元負担をなくすべき。

**地域協働部長** 防犯灯の維持管理

は、行政区交付金で町がその一部を負担している。現在、平成26年度の区長の代表者6人と交付金の見直しを検討しており、その中で結論を出したい。

**吉田** 近隣では、犬山市、扶桑町、小牧市等では地元負担をなくしている。

**地域協働部長** 財源が必要となる。

各区の意見を聞きながら見直しの方向性を検討中で、結論が出ていない。

**吉田** 犬山市や扶桑町では、防犯灯の設置主体が、それぞれの市、町になっている。

**地域協働部長** 犬山市では、LED

灯に変えた際に、防犯灯の所有権を市に移したと聞いています。

**吉田** これらの自治体の事例からすれば、大口町が負担するのは当たり前である。早急に検討すべき。

# ふるさと納税で産業振興を

## 部長 地域産業の拡大を目指し、関係者と協議していきたい



大島保憲

**大島** 大口町のふるさと納税の状況は。

**総務部長** 町へのふるさと納税額は、平成21、23、24、26年度で計114万円。

町から他自治体へふるさと納税された人の寄付額は、21年度から27年度までで3千167万8540円。

この寄付額に対する税金の控除額のうち、町民税の減収分は637万4420円。

**大島** 現在、町には返礼品がないが。

**総務部長** 寄付額と返礼品を比較し、損得勘定でふるさと

納税を誘導する手法は、制度の趣旨から外れるのではないかと考える。

**大島** 納税に対する返礼品を本町の特産品

から掘り起し、地域産業を応援する等、ふるさと納税の取組みを行ったかどうか。

**総務部長** 本制度を産業振興策の一つとして返礼品を用意することに異論はない。

生産・加工・販売における初期投資への助成制度は、特産品として付加価値を高める効果が期待される。

**大島** ブランド化する素材には、「かりもり」「さくら酵母の純米酒おおくち」「六条大麦」「あいちのかおり」等がある。

地域産業の活性化を図るため、商工会や農協等との連携を密にし、進められないか。

**総務部長** これまでも商工会を通し、商工業振興事業補助金によって特産品の開発や販路拡大について支援してきている。

今後、地域産業として継続、拡大を目指すよう協議していきたい。

# 学共の計画的な改修を

## 部長 本年度、改修計画を策定

**大島** 学習等共同利用施設（学共）の建設から30年以上経った。施設も、利用する町民も高齢化し、改修の要望も多く、旧式の施設も目立つ。

**地域協働部長** 外壁塗装や屋上防水の工事は、比較的新しい施設を除き順次改修してきた。

洋式トイレやスロープの設置工事は、「コミュニティ

活動を実施している施設を優先的に進めてきた。

**大島** 改修されてきた学共もあるが、手つかずのものもある。町民が使いやすい学共にするため、年次計画を立て、改修を実施してほしい。

**地域協働部長** 学共の修繕計画は、外壁等の劣化に伴う修繕、内部的な改修の2つに分け、本年度策定する予定。



町特産の期待がかかる、かりもり  
出典:愛知県HP「あいちの園芸農産」



改修が望まれる竹田学習等共同利用施設

# 病児保育利用料の全額公費負担を

## 部長 利用料に上限を設けている

**船戸** 母子家庭の約8割が就労しており、

平均収入は223万円、手取り収入では181万円である。児童手当・児童扶養手当などの公的支援も、手取り収入が低い方々は、家計に取り込まれてしまう。病児保育利用料1時間当たり500円、1日3000円の全額を公費負担できないか。

**健康福祉部長**

病児・病後児保育

事業は、子育てしながら働く保護者に対するセーフティーネット的な性格のもので、恒常的に利用するものではない。委託料として600万円の公費負担をしております。利用料に上限を設けている。現段階で利用料を全額負担する考えはない。

**町長**

母子父子家庭に対する各種制度に、

かみ合っていない部分はある。各家庭の事情を踏まえた対応が必要である。法令に従ってやらざるを得ない面があるが、痛みしい事件事故は起きてほしくないと誰もが願っている。これには地域住民、議員、行政が連携しながら取り組んでいきたい。



船戸光夫

# 国保税滞納世帯の分割納付の普及を

## 参事 収入の状況を個別に聞き取り対応

**船戸**

低所得の方の国保税の滞納に対する資格証明書や短期保険証の発行をやめてほしい。

**健康福祉部参事**

資格証明書は、1

年以上の滞納があり、納税相談に応じず接触が取れない方に対し発行している。短期保険証は、納付額や納付状況により発行している。

**船戸**

滞納世帯の暮らしを把握し、保険税の分割納付の対応を。

**健康福祉部参事**

収入の状況、家賃

や食費などの家計の状況を手エックシートで聞き取り、短期間での完納が困難な場合は分割納付で対応している。

**船戸**

年収200万円以下の子育て世帯の国保税を1万円引下げできないか。

**健康福祉部参事**

制度上、所得の少ない方にも保険税を負担

してもらふ必要がある。平成26年度から2年続けて低所得層に対する保険税の軽減対象世帯の拡大を行っている。

**船戸**

30年度から国保運営が都道府県に移行する法律が成立した。一般会計からのその他繰入金や国保の財政調整基金はどうなるのか。

**健康福祉部参事**

一般会計からのその他繰入金金の取扱いは各自治体の判断に任せられ、国保制度により禁止する考えは国にはないよ



# 生活困窮者自立支援制度の着実な実施を

## 部長 関係機関との連携強化により、早期発見・支援に努める



柘植 満

**柘植** 町の取組み状況は、

**健康福祉部長** 町には福祉事務所

がないため、県尾張福祉相談センターが実施主体となる。県支援員が月4回、健康文化センターで相談を受け付けている。現在、7人が相談を受け、うち2人が住居確保給付金を受け、就労につながった。

**柘植** 地域の関係機関や部署との連携体制を構築し、早期発見、早期支援が必要では。

**健康福祉部長** 役場の関係各課、ハ

ローワーク、民生委員・児童委員との連携を強化し、県尾張福祉相談センター

の支援調整会議に参加し、早期発見、早期支援に努めていきたい。

**柘植** 「子どもの貧困」と関わる、ひとり

親家庭の所得や資産の格差解消に向けた取組みが必要では。

**健康福祉部長** 県では、無

料職業紹介、養育費の相談などの生活支援サービスの他、資格取得のための各種講座や各種学校で修業する際の給付金制度を実施している。

町では、所得制限があ

るが、18歳以下の児童とその児童を扶養している親に対し、医療費の自己負担額を助成している。

**柘植** 生活困窮者自立支援制度では、子ど

もの学習支援が自治体の任意事業に組み込まれた。

町の取組みは。

**生涯教育部長** 町の規模

に合った制度を研究し、教員OB又は地域ボランティア団体とも相談しながら、無料塾開設の可能性について検討していきたい。



生活困窮者自立支援制度のパンフレット

## 図書館の学習スペースの整備を

### 部長 限られたスペースを活用しており、今以上の整備は難しい

**柘植** 耐震整備されてき

れいになり、利用しやすくなったが、学習スペースは部屋がなく、空いたスペースを利用している状況である。整備してはどうか。

**生涯教育部長** 図書館に

は面積的な制約があり、テスト週間など、一時的に多くの方が利用する際は席数が足りず、迷惑をかけている。限られたスペースを有効活用しており、今以上の整備は難しい。

**柘植** 図書館の雑誌コーナー事業の検討

を。

**生涯教育部長** 県内54市町村のう



図書館の学習スペース

ち14市町がスポンサー制度を導入している。

現在、本の盗難防止のため、館内で利用する場合がございます。この導入を検討している。かご、貸出し用のバッグ製作にもスポンサー制度が利用できないか検討している。

# 平成26年度政務活動費の使いみち

政務活動費とは、議員が通常の議員活動とは別に、それぞれの会派または個人が、議員としての知識向上や見聞を広めたり、資質向上を図るために交付される調査研究費です。

活動費は、年間一人6万円となっており、研究研修費、調査旅費、資料費、広報費、事務費などに限定され、収支報告書にはすべての証拠書類などの写しを添えて報告し、残金は町に返金されました。

主な使いみちは、次のとおりです。

## ○大政クラブ(9人)

調査費 48万円

視察先 宮城県南三陸町

目的 東日本大震災後の南三陸町の復興に向けた町づくりの

取組み

総額 48万円

## ○公明党(1人)

研修費 2万7840円

場所 大阪府大阪市

内容 マイナンバー制度導入に伴う

条例制定セミナー

会議費 1640円

資料費 2万6524円

広報費 3996円

総額 6万円

## ○研政会(1人)

広報費 2462円

総額 2462円

## ○誠真クラブ(2人)

研修費 2万1600円

場所 大阪府大阪市

内容 マイナンバー制度導入に伴う

条例制定セミナー

調査費 5万5460円

視察先 大阪府吹田市立千里山・佐

井寺図書館

目的 木造・複合施設のあり方と

建設

総額 7万7060円

## ○共産党(2人)

調査費 5万7356円

視察先 奈良県生駒市、三重県いな

べ市

目的 自治体の主導による介護予

防事業の取組み

資料費 1万680円

広報費 4万9888円

総額 11万7924円

## 政務活動費の交付対象・方法を見直しました

(平成27年5月から)

### ①見直しの理由

政務活動費は、町民の付託に応えるための議員活動に欠かすことのできないものである一方で、公費であることから、議員は、その執行が適正なものであることを説明する必要があります。

政務活動費に対する町民の理解を得るとともに、議会に対する信頼をより向上させる観点から見直しを行いました。

### ②見直しの概要

【交付対象】「会派」から「議員個人」に見直しました。

【交付方法】「一括前払い方式」から「実費後払い方式」に見直しました。

また、活動を実施した後に報告書等の必要書類を提出し、検査を受けた後、はじめて受け取ることができるようにしました。

【調査】政務活動費の適正な使用を確保し、その用途の透明性を高めるため、議員の責務、議長の調査権を定めました。

【透明性の確保】政務活動費の情報を公開する規定を定めました。



さか い まさ むね  
酒井 正宗

①是々非々

「公平無私に善いことは善いとして賛成し、悪いことは悪いとして反対する」という意味ですが、私もそのように物事をとらえて、行動を心掛けたいと思います。

②私は、この町が大好きです。この町をさらに「住んでみたい大口町」「住んでよかった大口町」といわれるような、まちづくりを進めたいと思ったのが理由です。安全・安心なまちづくりの推進、子育て世代の支援等を行い、活力あるまちづくりを目指します。



ふな と みつ お  
船戸 光夫

①謙虚、誠実

どんな場面においても、どんな立場になっても人は謙虚な姿勢、誠実な心が大切だと思います。それぞれの立場を越え、ともに目標を持てば必ず良い結果がついてくると信じています。

②人にあたたかい町づくりのために頑張っていると思い、福祉の充実、暮らしの応援、防災等に取り組み、大口町に住んで良かった、大口町で子育てができて良かったと感じていただけることを目指します。よろしくお願いいたします。

# 新議員に抱負を聞きました

4月の選挙で、新たに議員となった4人を紹介します。質問項目は、次のとおり。

- ①好きな言葉とその理由
- ②議員になろうと思った理由、これから4年間どんなことに力を入れたいか



おお たけ しん いち  
大竹 伸一

①日々是好日

人生はもとより様々な苦しみや、喜びが伴う中で生かされていることを大切に重んじ、この先も多くのの方々との出会いを喜びにしていきたいです。

②この地で生まれ育ってよかったと思われる元気な町、そして安全・安心で災害に強い地域づくり、まちづくりを目指し、皆さま方の声とご指導をいただき、ふれあいと絆を大切に、努力を惜まず、力いっぱい頑張ります。よろしくお願いいたします。



すず き よし ひこ  
鈴木 義彦

①正義

自分の名前にも一字あるように、正しい道を、責任をもって堂々と歩いていく。簡単なようで、なかなか難しい生き方だと思います。

②一人ひとりの小さな言葉に耳を傾け、最善を尽くして町政にその声を届けていきたいと思っています。併せて、大口町の未来を担う子どもたちと、お年寄りの安心・安全を願い、努力していきたいので、よろしくお願いいたします。

# 新議員研修を実施しました

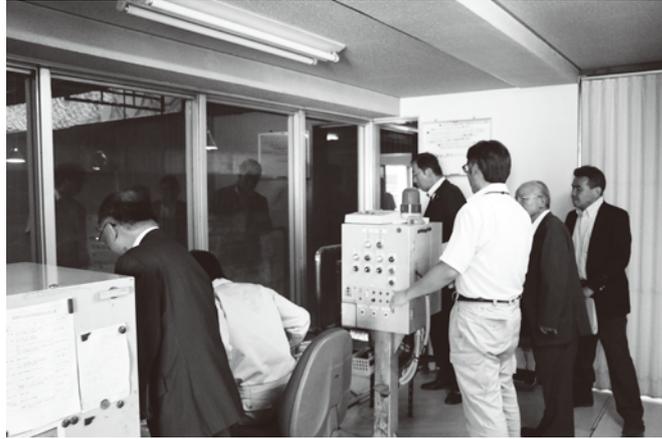
5月22日、新議員4人を対象に研修を実施しました。

午前の部では、議会の権限、議員活動、議会運営のルール、議案審議の他、町予算を始めとする財政制度について学びました。午後の部では、愛北広域事務組合と江南丹羽環境管理組合において事業概要の説明を受けた後、施設内を見学しながらし尿やごみの処理工程を学びました。

住民の代表である議員の役割は重要で、地域の課題や多様なニーズへの適切な対応が求められており、議会議員としての一層の努力と決意を新たにしました。



愛北広域事務組合



江南丹羽環境管理組合

## 北保育園仮設園舎を視察

6月2日、北保育園仮設園舎を調査するため、議員全員で現場を視察しました。

中野保育長から、4月から使えるようになった仮園庭、また、基礎工事に始まり、柱、屋根、壁、窓と徐々に形作られていく仮設園舎の工事を見守る園児の様子などについて説明を受けた後、園内を視察しました。

北保育園の仮設園舎は、6月中旬には建設工事が終わり、本園舎が完成するまでの2年間、使用する予定です。

なお、本園舎の工事は2期に分けられ、1期工事は本年7月から平成28年3月までを予定しています。

また、北保育園では、3月から月1回のペースで「北保育園建設だより」を発行しています。



仮設園舎内の視察



仮園庭で遊ぶ園児



仮設園舎

# 今回は、日本語ボランティア教室 セレジャ 「Cerejaカフェ」の皆さんです。

# まちの 元気者

## ♪ 「Cereja (セレジャ)」とは？

「Cereja」はポルトガル語で「さくらんぼ」の意味です。大口町は桜が有名なので、桜にちなんだ名前にしたいと名づけました。

平成26年1月から3月まで行われた日本語ボランティア養成講座に参加したメンバーで立ち上げました。

## ♪ 活動の様子は？

健康文化センター2階の町民活動センター(まかせてルーム)で、毎週土曜日の夜7時から8時30分まで、学習者(在住外国籍の方)の希望に合わせ、日本語学習の支援をしています。お互いが学び合う場として楽しく活動しています。

## ♪ 1年間の手応えは？

会話や日本語能力検定試験に向けた学習の場ですが、参加者の交流の場にもなっています。また、学習者から「自国に帰って通訳の仕事に就いています」と連絡をもらった時はうれしかったです。

## ♪ 今後の展望は？

国籍を問わず、誰もが暮らしやすいまちにするため、教室に来た人たちが、積極的に地域活動に参加したり、多くの方とつながりを持てるきっかけづくりの場にしていきたいです。地域の皆さんに応援していただける日本語教室として、育っていかれたらと思います。



メンバーの皆さん



教室の様子

### 取材を終えて

代表の土田富三子さんに伺いました。ありがとうございました。日本語ボランティアに興味がある方は、ぜひ教室に見学に来てください。  
(酒井正宗)

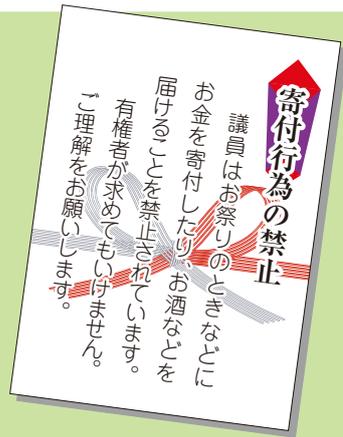
### 表紙の写真

#### ■みんな、笑顔■

5月20日、北保育園の遠足で小口城址公園を見学したあと、北児童センターへ。パネルシアター「三びきのやぎのがらがらどん」を楽しみました。

議長	木野春徳
副議長	伊藤藤
委員	岡孝
委員	吉田孝
委員	酒井正
委員	鈴木義彦
委員	丹羽孝彦

発行責任者



### 会議録が閲覧できます

<http://www.town.oguchi.aichi.jp/2741.htm>



# みなさん議会傍聴に 来てください

## 9月定例会予定

9月 1日(火)	提案説明
9月 7日(月)	質疑
9月 8日(火)	質疑・委員会付託
9月10日(木)	総務建設常任委員会
9月14日(月)	文教福祉常任委員会
9月16日(水)	一般質問
9月17日(木)	一般質問
9月25日(金)	討論・採決

手続きは簡単です!  
役場3階で住所と名前を書くだけ